

みなさん、お久しぶりです！

新型コロナウイルスの影響で長い間、更新できずに申し訳ありませんでした。現在は学校が再開されているものの、厳しい防疫体制の中で、今までのような授業や行事ができない状態が続いています。城北中学校の学校だよりでも紹介させていただきましたが、現在も防疫体制は続いています。

学校だよりと重なる部分もありますが、今の上海日本人学校の授業の様子をお知らせさせていただきます。

上海日本人学校浦東校の現在

上海では新型コロナウイルスの影響が1月下旬から出始め、2月は街にほとんど人や車が見られない状態でしたが、3月に入ると徐々に街に活気が戻り、現在は、ほぼ通常の生活が送れるようになってきています。そのような中、上海日本人学校は1月23日から約4か月間休校になりました。ようやく5月28日にプレ開校という形で学校を再開し、6月8日には本開校を迎え、始業式と入学式を迎えました。

しかし、開校したとはいうものの、感染症対策の規制は厳しく、通常の学校生活が送れていません。今までは多くの生徒がスクールバスで登校しましたが、感染症対策の影響でスクールバスが運行できず、生徒全員が保護者の送迎で登下校しています。保護者と一緒に、タクシーや地下鉄で片道1時間以上かけて通学している生徒もたくさんいます。校門前では1m間隔で並び、校門でサーモグラフィーを使って検温を行います。体温が37.0℃以上の場合は検温スペースで再検温をし、そこでも体温が37.0℃以上だった場合は、その日の授業を受けることができません。生徒玄関で上履きにはきかえたら、下足を袋に入れて教室に向かいます。靴箱は使えません。教室のロッカーや棚も使えず、自分の机の横に荷物をかけます。人と1m以上の距離を保ち、教室では自分の席で静かに過ごします。階段や廊下は一方通行で、友だちと並んで歩いたりせず、前後の人と1m以上の間隔を意識しながら移動をします。

校内では、常に1m以上の距離をとります。授業の道具や上履きなどの私物は毎日持ち帰ります。衛生上の理由から、ごみ箱は撤去されており、生徒はご

み袋を持参し、自分のごみは自分で持ち帰ります。弁当を食べる以外は、必ずマスクを着用します。トイレから教室へ戻るときも必ずアルコール消毒をします。弁当を食べる前、手洗いを念入りにした後もアルコール消毒をします。生徒は1日で10回以上はアルコール消毒をしていることとなります。生徒は原則、自分の席で過ごすかトイレへ行くことしかできません。生徒が下校した後、毎日専門業者が入り、使用した教室や廊下の全てを消毒します。学校全体で、積極的に感染症対策を行い、上海市からの開校の許可をもらっています。

そして何より、現在、本来いるべき先生が半分の数しかいません。日本と中国ではお互い入国制限があるため、今年度赴任するはずだった全ての先生が、まだ赴任できていません。上海に残っている教職員だけで、感染症対策と日常の学校業務を行っています。そのため、毎日の授業は、別教室で先生が一人で授業を行い、それを複数のクラスへライブ配信をして行っています。日本にいる赴任出来ていない先生には、日本で授業をしてもらい、複数のクラスへライブ配信して授業を行っています。入国禁止前に日本へ一時帰国して、その後、上海へ戻れなくなっている生徒もまだたくさんいます。

新型コロナウイルスの感染者は、中国では少なくなってきました。ただし、第2波、第3波への警戒が必要です。学校は規制を守りつつ、試行錯誤しながら授業や学校生活を送っている状態です。はやく、世界的な混乱が収まり、当たり前の日常が戻ってくることを願っています。そして、その日が来るまで、生徒と先生、そして事務スタッフが一丸となって、これからもがんばります。



撮影教室

教室で一人で授業を行います。タブレットを通して各教室と画像と音声のやりとりができます。



授業教室

スクリーンに映った先生の授業を視聴しながら学習に取り組みます。生徒は発言も可能です。